

## 第2学年3組 国語科学習指導案

指導者 池田 ふみ子

1. 日時 場所 平成22年11月17日(水) 2年3組教室

2. 単元名 だいじなところに気をつけて読もう「サンゴの海の生きものたち」

3. 単元目標

- 海の生き物の関わり合いについて、事柄の順序を考えながら読む。
- 興味を持った海の生きものに関する本を選んで読み、大事な言葉や文を書く。

4. 評価規準

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"><li>・サンゴの海の生き物たちの様子について読み取ったことを、身体で表現したり、言葉にしたりする中で、互いの感じ方を認め合おうとしている。</li><li>・海の生き物に関する本を選んで読もうとしている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・説明文の構成や事柄の順序に気をつけながら、サンゴの海の生き物たちに関する文章を、読んでいる。(イ)</li><li>・海の生きものに関する本を読み、興味をもったことなど、大事な言葉や文を書いている。(エ)</li><li>・本の題名や目次、索引、図や写真などに着目して海の生き物に関する本を選んで読んでいる。(カ)</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・主語と述語の関係に注意して文や文章を読んでいる。(イ(カ))</li></ul>

5. 児童の実態

支援級児童を含め27名のクラスである。国語の時間は22名で学習をしている。読み書きへの困難さなど、学習面で配慮を要する児童もいるが、少人数のため比較的、担任の支援はしやすいように感じられる。

全校で朝の読書に取り組んでいるので、日ごろから読書に親しむ子どもが多い。文字が苦手な子は、絵の多い本を選んで楽しんでいる。外遊びが大好きな子も、日によっては図書室に通い静かに読書を楽しんでいる。

年度当初、子どもたちは絵本や物語の本はよく読むが、本単元で使うような科学的な読み物には手が伸びないことが多いように感じた。そこで、クラスで育てている「かたつむり」「コオロギ」のことをテーマにしたブックトークをしたり、生活科の時間にポケット図鑑を使ったりすることで、少しずつ科学的な読み物にも興味が向くようになってきた。学級活動の時間に、絵本の棚・文学作品の棚・科学的な読み物の棚の3つを確認し、図書館で本探しもしてきた。

読む能力については、学級内での差が大きいことが感じられる。「本と友だちになろう」の単元では、全員がお気に入りの本の紹介をした。一文字一文字を追うことが精一杯という子は50インチ大型テレビに本を映して「機関車の絵のページが好きです。」と紹介していた。お気に入りのページだけでなく、本の要旨をまとめて紙芝居にする子もいた。個人の能力に差はあるが、楽しんだり知識を得たりするために本や文章を選んで読み、内容を読み取る力を育てていきたい。

## 6. 単元設定の理由

子どもたちはこれまでも説明文を読み、情報を整理してノートにまとめる学習をしてきた。「たんぼぼのちえ」では、時間の経過に沿って、たんぼぼの「ようす」と「ちえ」を読み取って書きぬく活動をしてきた。

「サンゴの海の生きものたち」では、初めにおおよそが述べられていて、そのあとに具体的なことが説明されているという構造になっている。「イソギンチャクとクマノミ」「ホンソメワケベラと大きな魚」という、異なる二つの生き物の関わり合いについて、事柄の順序に気をつけて読み取る学習になる。この学習は、興味を持った海の生き物に関する本を選び、事柄の順序に気をつけて読む活動につながると考えた。教材文から読み取るだけでなく、楽しんだり知識を得たりするために自分で本を選び、その中から大事な言葉を書く活動につなげていきたい。

本単元では、図鑑の目次、索引の使い方も学習する。学年が上がるにつれて事典や年鑑の使い方に発展できるようにしたい。また、科学的な読み物は、背表紙の魚と貝のマーク、本の題名、図、写真などに着目して本を選べるようにしたい。今は「花や虫の本は、4の棚にある」という理解にとどまっている子どもたちだが、今後は「医学」「数学」「天文学」「地学」などが4類の棚に含まれていることに気づけるようにしたい。

読む活動として、調べたことをワークシートにまとめさせ、情報カードに移行できるように、項目だてて吹き出しに書かせるようにした。後々、調べたことをまる写ししてしまうのではなく、読み取ったことを表現や記述の仕方を変えてまとめ、自分なりに加工して表す必要が出てくる。2年生の段階では、興味を持ったことや大事な言葉を書いたら、書名を書き残しておくこと、自分の感想は別の欄に書くことをしっかり確認していきたい。

## 7. 研究テーマとの関連

自ら学ぶ力と豊かな心を育てる情報教育をめざして  
～メディア活用で育てる情報活用能力、メディア活用で伸ばす確かな学力～

子どもたちの「情報活用能力」を育成するためには、子どもたち自身が様々なメディアの特性を生かしながら適切に活用して問題解決に取り組む学習活動の充実が大切である。池田級の子供たちは、朝の読書活動をしたり、教師のブックトークをきいたり、お気に入りの本を紹介し合ったりと日常的に読書に親しんでいる。

今回の授業は、「サンゴの海の生きものたち」の特徴やかかわり合いを読み取ることでより本単元で身に付けてきた読む力をいかし、子どもたちが興味をもった海の生きものに関する本を読み、調べて分かったことをワークシートにまとめていく活動を行う。さらに本時の活動をいかして次の活動では生きものカードを作成する。これらの活動を通して、資料に載っている絵や写真、文などから自分が必要とする情報を収集する力を子どもたちに付けていきたいと考えている。それは、図書資料からきちんと情報を収集する力を身に付けることにより、他の様々なメディアを活用し情報を収集・選択したり、調べたことを表現したりする活動にいかされると考えるからである。また、単元の最後には、個々に作った生きものカードをまとめ、クラスで生きもの図鑑を作ることになっている。生きものカードを読み合い、交流する中で、友だちから得た情報で新しい発見をし、自分の知識の幅を広げる楽しさを実感できたら良いと思っている。

子どもたちが学習活動を通して、教科の目標を達成するための効果的なメディア活用ができたか、また、それとともに子どもたちの情報活用能力の育成が図れたかを検証していると考えている。

8. 単元計画（10時間扱い）

		学習活動	指導上の留意点・ 評価【 】	ICT・図書館 活用の指導
一 次	1	<div data-bbox="375 342 1182 405" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     「サンゴの海の生きものたち」を読んで、感想を発表しよう。                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・映像や写真を見て、サンゴの海の中のイメージを広げ、気づいたことを発表する。</li> <li>・本文の範読を聞き、感想を書いて発表する。</li> <li>・学習のめあてを確かめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・50インチ大型テレビに、用意したサンゴの海の映像や教科書の写真を映し、イメージをふくらませるようにする。</li> <li>・黒板にカラー印刷した写真を掲示し、教材文の内容を思い出させるようにする。</li> <li>・範読聞きながら、はじめて知っておどろいたことやおもしろいことに①マーク、不思議に思ったことに②マークをつけるように声をかける。ノートにまとめる時間をとる。</li> <li>・学習のまとめとして自分たちで海の生きものについて調べ、「海の生きものカード」にまとめることを提案する。</li> </ul> <p>【関】 はじめて知っておどろいたこと、おもしろいと思ったこと、不思議に思ったことについて互いに認め合おうとしている。【発言】</p>	
二 次	2 3	<div data-bbox="446 1417 1150 1518" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     「サンゴの海の生きものたち」の特徴や かかわり合いを読み取ろう                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イソギンチャクとクマノミの特徴や関わり合いを読み取り、まとめる。</li> <li>・海の生き物になって動いたり、相手に言葉をかけたりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問いの文と「どんな生きものがどんなかかわり合いをしているのか」という読みの視点を確認する。</li> <li>・イソギンチャクやクマノミの特徴を書くワークシートを用意する。</li> <li>・3次の海の生きものを調べる学習にスムーズにつながられるように、生きものの特徴の観点を明確にして、書く活動を取り入れる。</li> <li>・イソギンチャクやクマノミにとって相手がどのような役割を持つのか</li> </ul>	<p>情報カード（ワークシート）の記入の仕方</p>

			<p>かをおさえる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カスタネット、お面などを用意して、グループで発表する時間を取る。</li> </ul> <p>【読】 イソギンチャクとクマノミの特徴やかかわり合いを読み取り、大事な言葉を書いている。 [ワークシート・行動観察]</p>	
	4 5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホンソメワケベラの特徴や大きな魚たちとの関わり合いを読み取り、まとめる。</li> <li>・海の生き物になって動いたり、相手に言葉をかけたりする。</li> <li>・海の生きものたちのかかわり合いについて、まとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホンソメワケベラの特徴を書くワークシートを用意する。</li> <li>・ホンソメワケベラと大きな魚にとって相手がどのような役割を持つのかをおさえる。</li> <li>・お面を用意して、グループで発表する時間を取る。</li> </ul> <p>【読】 ホンソメワケベラの特徴や大きな魚とのかかわり合いを読み取り、大事な言葉を書いている。 [ワークシート・行動観察]</p>	情報カード (ワークシート)の記入の仕方
三 次	6  7	<div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin-bottom: 10px;">海の生きものカードを作ろう</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な海の生きものの映像や画像を見て、興味を持つ。</li> <li>・取り上げる海の生きものを選んでワークシートに書く。</li> <li>・「海の生きもの」についてのブックトークを聞く。</li> <li>・図書室の中から海の生きものについての本を探す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちが知っている魚だけでなく、次時に紹介する本の中から、形や生態が特徴的な生き物を紹介し、興味を持たせる。</li> <li>・紹介する生き物の名前と画像のスライドを用意する。</li> <li>・タイトルに魚の名前がついている本や、図鑑など、海の生きものに興味を持てるような様々な本を選ぶ。</li> <li>・前時に紹介した魚が、本の中に載っていることを知らせる。</li> <li>・本のある場所やラベルの色(水色)、ラベルのシールを確認する。探した本は授業後に教室に移動させる。</li> </ul> <p>【読】 本の題名、目次、索引、図、</p>	図書の配架のしくみ (4類) 目次・索引の見方

		<p>写真に着目して、海の生きものについて調べるための本を選び、読んでいる。</p> <p>[行動観察]</p>	
⑧ 9	<p>・海の生きものに関する本を選んで読み、大事な言葉や文を書くことができる。</p>	<p>・ワークシートには児童一人一人調べた生き物の写真を印刷しておく。</p> <p>・大きさ・色・体の仕組みなどを1つずつ書けるワークシートを用意する。</p> <p>・調べて分かったことと、思ったことは区別して書くよう声をかける。</p>	<p>本の選び方</p> <p>図鑑の使い方</p> <p>情報カード（ワークシート）の記入の仕方</p>
10	<p>・調べたことを「生きものカード」にまとめる。</p>	<p>・生き物カードには児童一人一人調べた生き物の写真を印刷しておく。</p> <p>・早く仕上がった場合は、お互いに原稿を読み合って、内容を補足したり、間違いを直す時間にする。</p> <p>・全員が仕上がったら、一冊にまとめて海の生きもの図鑑を作り、配布し、朝の読書の時間に読みあえるようにする。</p> <p><b>【関】</b> 海の生きものに関する本を選んで読もうとしている。</p> <p>[行動観察]</p> <p><b>【読】</b> 海の生きものに関する本を読み、大事な言葉や文を書いている。</p> <p>[ワークシート]</p> <p><b>【言】</b> 主語と述語の関係に注意して、海の生きものに関する本を読んでいる。</p> <p>[ワークシート]</p>	

9. 本時の活動（8 / 10）

①目標

海の生きものに関する本を選んで読み、大事な情報（言葉や文）を書くことができる。

②本時の展開

学習活動	指導上の留意点・評価★
<p>1. 本時のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; text-align: center; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;">                     海の生きものはかせになろう                 </div> <p>2. しらべたいことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体のようすが知りたいです。</li> <li>・食べ物を調べたいです。</li> <li>・仲良しの生きものを調べたいです。</li> </ul> <p>3. 本のさがし方と、ワークシートの記入の仕方を知る。</p> <p>4. 自分が選んだ海の生き物を調べて、わかったことを書く。</p> <p>5. 調べた感想を発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・泳ぎ方がおもしろいと思いました。</li> <li>・体のようすが分かってびっくりしました。</li> <li>・えさがわからなかったなので、もっと調べたいです。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・50インチ大型テレビに、これから調べる魚の画像を映して確認する。</li> <li>・これまでに学んだクマノミやホンソメワケベラの特徴を表す項目（体の色・体のようす・食べ物、など）を黒板に掲示する。</li> <li>・ワークシートには児童一人一人調べた生き物の写真を印刷しておく。</li> <li>・ワークシートの吹き出しに、体の色・体のようす、食べ物など項目ごとに1つずつ書かせる。</li> <li>・吹き出しが足りなくなった場合は空いているところに書き足しても良いことを伝える。</li> <li>・必要に応じて再度読むことができるように、情報があつたページに付箋紙を貼っておくことを確認する。</li> <li>・ワークシートにまとめ終わったら、さらに調べてもよいことを伝える。</li> <li>・付箋をもとに、ワークシートにまとめさせる。</li> <li>・自分の思いを記入している子には、根拠となる具体的な情報を書くように声をかける。</li> <li>・「お助けコーナー」を作り、調べる魚がどの本に載っているか知らせあえるようにする。</li> <li>・次の時間も活動の続きができることを知らせる。</li> </ul> <p>【読】海の生きものに関する本を読み、大事な言葉や文を書いている。</p> <p>[ワークシート]</p>